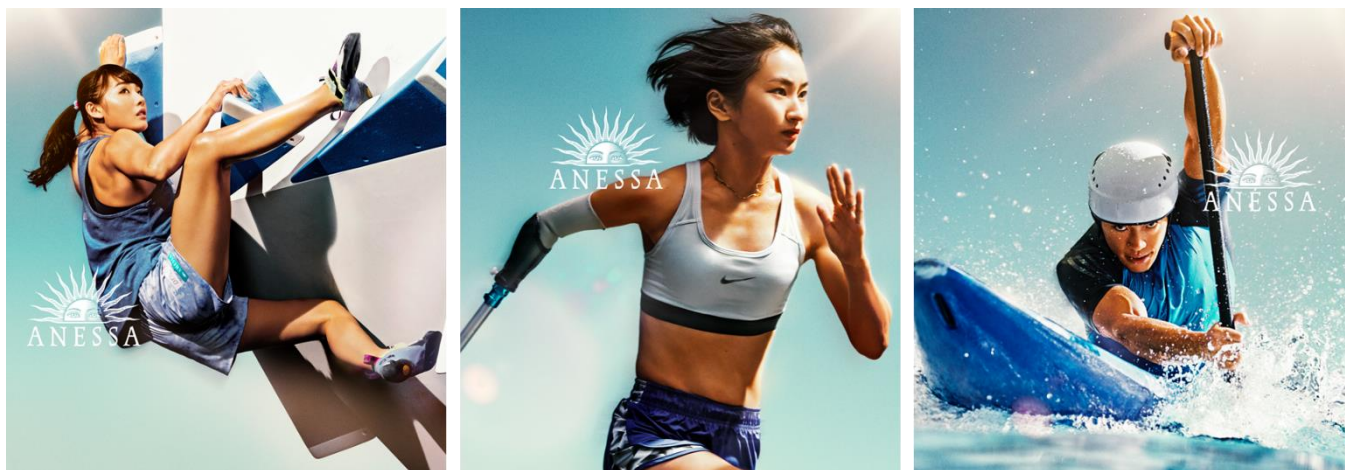


スポーツクライミング伊藤ふたば選手、パラ陸上競技重本沙絵選手、 カヌー羽根田卓也選手の3選手とアンバサダー契約を締結



18年連続売上シェア NO.1(※1)のサンケアブランド「アネッサ」は、スポーツクライミングの伊藤ふたば選手、パラ陸上競技の重本沙絵選手、カヌースラロームの羽根田卓也選手とアンバサダー契約を締結しました。2019年2月28日(木)の「東京マラソン EXPO2019」を皮切りに、3選手を起用した広告コミュニケーションを開始いたします。

今後、国内では複数の国際的なスポーツ競技大会が予定されており、生活者がスポーツに取り組む機運が高まっています。アネッサは世界共通言語であり、人々に感動と共感を与えるスポーツをサポートすることで、世界中の人々のアクティブで美しい生き方をこれまで応援してきました。

今回契約を締結した3選手はいずれも国際大会で輝かしい成績を残し、世界に挑み飛躍し続けています。今後は、日差しの強い屋外での練習や試合など厳しい紫外線環境下で闘う選手達の肌を「様々な紫外線ダメージ」から守り抜き、3選手の世界へのチャレンジを「美」を通じてサポートしていきます。

※1 インテージ SRI 日やけ止め市場 データ期間:2000年11月~2018年10月 アネッサブランド(金額シェア)

伊藤ふたば選手からのコメント

屋外の大会が多いクライミングにとって日やけ止めは大切なアイテムです。登る前につけても、べたつきが気にならないのが「アネッサ」。これからも一緒に上を目指していきたいです。

重本沙絵選手からのコメント

陸上競技では紫外線を浴びる時間が長く、日やけ対策に関してとても悩んでいました。「アネッサ」は、長時間の屋外練習や試合で汗をかいても、私を守ってくれる“ヒーロー”の様な存在です。これからも「アネッサ」と共に選手としても、女性としても、強くてカッコよくなる様、頑張ります。

羽根田卓也選手からのコメント

カヌーは常に日射しと水しぶきの中で行われるスポーツです。水に強だけでなく、水と汗にふれることで紫外線ブロック膜が強くなる「アネッサ」は僕にとってのオンリーワンです。これからも「アネッサ」と一緒に漕ぎつづけます。

伊藤ふたば選手プロフィール

生年月日	2002 年 4 月 25 日
身長	160cm
出身地	岩手県
競技	スポーツクライミング
所属	TEAM au (KDDI 株式会社)



主な経歴

2010 年	小学 3 年生で父親の趣味だったクライミングに興味を持ち、競技を始める。
2015 年	「ユース C カテゴリー」で日本チャンピオン。そして「アジアユース選手権」でもボルダリング、リード種目で優勝。
2016 年	「世界ユース選手権ボルダリング種目」で 2 位。
2017 年	日本一を決める「ボルダリング・ジャパンカップ 2017」では史上最年少 14 歳 9 か月で優勝。その年の「世界ユース選手権」でも初優勝を飾る。

重本沙絵選手プロフィール

生年月日	1994 年 10 月 28 日
身長	158cm
出身地	北海道函館市
競技	パラ陸上競技
種目	T47 100m、200m、400m
所属	日本体育大学陸上競技部パラアスリートブロック



主な経歴

2014 年	生まれつき右ひじから先を欠損しながらも、ハンドボール選手として健常者に交じってプレーし、高校総体出場。
2015 年	2015 年 12 月に本格的にパラリンピックでのメダルを目指すためにハンドボールから陸上競技(パラアスリートブロック)に転向し、パラ陸上競技の日本記録を樹立。
2016 年	「リオデジャネイロ 2016 パラリンピック」において、100m、200mでは 7 位入賞。400m では銅メダルを獲得。
2017 年	「世界パラ陸上競技選手権大会ロンドン大会」では、100m で 7 位入賞。200m で 6 位入賞(自身の日本記録を更新。)。400m では銅メダルを獲得。

※当社は、重本選手との契約とともに、より多くのパラアスリート支援とパラスポーツ発展に寄与したいという思いから、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟(本部所在地:大阪府大阪市、代表者:増田 明美)との間で、「オフィシャルパートナー」の契約を締結しました。

羽根田卓也選手プロフィール

生年月日	1987年7月17日
身長	175cm
出身地	愛知県 豊田市
競技	カヌー
種目	スラローム
所属	ミキハウス



主な経歴

1999年	カヌー選手であった父・邦彦さんの影響で小学3年生から競技開始。
2006年	高校を卒業後、強豪国スロバキアへ単身渡る。
2008年	「北京2008オリンピック」で14位。
2012年	「日本選手権」で優勝。 「ロンドン2012オリンピック」で7位入賞。
2016年	「リオデジャネイロ2016オリンピック」カヌースラローム カナディアンシングルで銅メダルを獲得。 アジア初の、カヌー競技でのメダルを獲得。
2018年	「日本選手権」で優勝。初優勝の2005年から、14連覇中。